東 京 都 職 員 採 用 選 考

【 Ⅱ 類　 理 学 療 法 】

（ 令 和 ６ 年 ５ 月 ９ 日 実 施 ）

試 験 問 題 （ 専 門 ）

注　 意

１　問題と答案用紙は別になっています。必ず答案用紙に解答してください。

２　問題は全部で**３０題**あります。

３　解答時間は**１時間３０分**です。

４　この問題冊子は持ち帰ることができます。

【問題１】

筋と支配神経の組合せで正しいものはどれか。

下記の１～５の中から一つ選び、その番号を答案用紙に記入しなさい。

１　回外筋　　―　尺骨神経
２　長掌筋　　―　橈骨神経
３　円回内筋　　―　正中神経
４　長母指屈筋　―　橈骨神経
５　長母指外転筋　―　正中神経

【問題２】

腕頭動脈から直接分枝するのはどれか。

下記の１～５の中から二つ選び、その番号を答案用紙に記入しなさい。

１　冠状動脈
２　右総頸動脈
３　左総頚動脈
４　右鎖骨下動脈
５　左鎖骨下動脈

【問題３】

基礎代謝について誤っているものはどれか。

下記の１～５の中から一つ選び、その番号を答案用紙に記入しなさい。

１　安静臥床で計測する。
２　男性は女性より高い。
３　過食によって上昇する。
４　年齢・性別が同じであれば体表面積にほぼ比例する。
５　基礎代謝量は、運動・作業時代謝量÷安静座位時代謝量で表す。

【問題４】

脂溶性ホルモンはどれか。

下記の１～５の中から二つ選び、その番号を答案用紙に記入しなさい。

１　アルドステロン
２　インスリン
３　グルカゴン
４　コルチゾル
５　バソプレシン

【問題５】

顔面の筋の作用の組合せで誤っているものはどれか。

下記の１～５の中から一つ選び、その番号を答案用紙に記入しなさい。

１　咬筋　　―　下顎骨を引き上げる
２　頬筋　　―　頬壁を歯列に押し付ける
３　口輪筋　　―　唇をすぼめる
４　前頭筋　　―　眉毛を引き上げる
５　オトガイ筋　―　鼻孔を広げる

【問題６】

正常歩行について誤っているものはどれか。

下記の１～５の中から一つ選び、その番号を答案用紙に記入しなさい。

１　股関節は立脚中期に最大内転位となる。
２　骨盤は水平面において、内回旋運動する。
３　身体重心は１歩行周期に上下運動を１回行う。
４　足関節は１歩行周期に伸展と屈曲とが２回生じる。
５　矢状面において、重心は踵接地期に最も低くなる。

【問題７】

悪性腫瘍と比較した良性腫瘍の特徴で正しいものはどれか。

下記の１～５の中から一つ選び、その番号を答案用紙に記入しなさい。

１　転移しやすい。
２　染色体異常が多い。
３　浸潤性に増殖する。
４　周囲組織を押すように発育する。
５　周囲との境界は不明瞭になりやすい。

【問題８】

学業の苦手な子どもがスポーツの大会で優勝する防衛機制はどれか。

下記の１～５の中から一つ選び、その番号を答案用紙に記入しなさい。

１　昇華
２　退行
３　否認
４　補償
５　抑圧

【問題９】

「１本の木」を自由に描いてもらう描画検査はどれか。

下記の１～５の中から一つ選び、その番号を答案用紙に記入しなさい。

１　ＳＣＴ
２　MMＰＩ
３　バウムテスト
４　Ｐ-Ｆスタディ
５　内田・クレペリン連続加算法

【問題 10】

三次予防はどれか。

下記の１～５の中から二つ選び、その番号を答案用紙に記入しなさい。

1　健康増進
2　再発予防
3　早期発見
4　予防接種
5　リハビリテーション

【問題 11】

介護保険制度について誤っているものはどれか。

下記の１～５の中から一つ選び、その番号を答案用紙に記入しなさい。

1　利用者負担は原則２割である。
2　保険者は、特別区を含む市町村である。
3　寝たきりや認知症で介護が必要な状態を要介護という。
4　介護保険の第１号被保険者は、65 歳以上である。
5　要介護状態区分等は、要支援１、２と要介護１～５を合わせた７段階である。

【問題 12】

骨粗鬆症について誤っているものはどれか。

下記の１～５の中から一つ選び、その番号を答案用紙に記入しなさい。

1　女性よりも男性に多い。
2　運動不足は危険因子である。
3　橈骨遠位端骨折がおこりやすい。
4　ビタミンDの欠乏が原因となる。
5　骨の絶対量が減少している状態である。

【問題 13】

小児の正常発達で最も早く可能になるのはどれか。

下記の１～５の中から一つ選び、その番号を答案用紙に記入しなさい。

１　寝返りをうつ。
２　快、不快を表す。
３　バイバイをする。
４　人見知りをする。
５　つたい歩きをする。

【問題 14】

理学療法士法及び作業療法士法について誤っているものはどれか。

下記の１～５の中から一つ選び、その番号を答案用紙に記入しなさい。

１　名称独占である。
２　昭和 40 年に制定された。
３　免許は都道府県知事から交付される。
４　守秘義務違反があっても告訴がなければ公訴を提起することができない。
５　「心身に障害があって業務を適正に行うことができない者」は免許の取り消し理由の１つである。

【問題 15】

ＡＤＬ（activities of daily living）に含まれるものはどれか。

下記の１～５の中から二つ選び、その番号を答案用紙に記入しなさい。

１　移動
２　掃除
３　排泄
４　料理
５　買い物

【問題 16】

高次脳機能障害の症候とその組合せで正しいのはどれか。

下記の１～５の中から一つ選び、その番号を答案用紙に記入しなさい。

１　観念失行　　―　言語命令に従って社会的習慣性の高い動作を意図的に行うことができない。
２　純粋失読　　―　文字は書けるが書いた文字を読めず、指で文字をなぞると読める。
３　伝導失語　　―　会話の中で物の名称や必要な語句が出てこない。
４　観念運動失行　―　ボタンをはめるなどの習熟動作が困難となる。
５　肢節運動失行　―　日常使用している道具を使うことができない。

【問題 17】

うっ血性心不全でみられるものとして誤っているものはどれか。

下記の１～５の中から一つ選び、その番号を答案用紙に記入しなさい。

１　喘鳴
２　肝腫大
３　呼吸困難
４　四肢冷感
５　頸静脈怒張

【問題 18】

口すぼめ呼吸で正しいのはどれか。

下記の１～５の中から一つ選び、その番号を答案用紙に記入しなさい。

１　気道の虚脱を促す。
２　呼吸数を減少させる。
３　呼気時間を短縮させる。
４　１回換気量を減少させる。
５　最初からゆっくりと呼吸を行う。

【問題 19】

がん患者の緩和ケア病棟におけるリハビリテーションで誤っているものはどれか。

下記の１～５の中から一つ選び、その番号を答案用紙に記入しなさい。

１　チームアプローチを重視する。
２　機能回復よりＱＯＬを優先する。
３　リンパ浮腫に対して理学療法を行う。
４　疼痛を緩和するために温熱療法を行う。
５　骨転移の有無に係わらず一貫した理学療法を行う。

【問題 20】

６歳の男児。脳性麻痺。屋外歩行は歩行補助具を必要としないが、階段昇降時は手すりを必要とする場合、ＧＭＦＣＳのレベルはどれか。

下記の１～５の中から一つ選び、その番号を答案用紙に記入しなさい。

１　Ⅰ
２　Ⅱ
３　Ⅲ
４　Ⅳ
５　Ⅴ

【問題 21】

経皮的電気神経刺激について正しいのはどれか。

下記の１～５の中から二つ選び、その番号を答案用紙に記入しなさい。

１　内因性疼痛抑制機構を促進させる。
２　中枢性麻痺による痙縮を軽減させる。
３　ゲートコントロール理論をもとにした電気療法である。
４　長いパルス持続時間で 10Ｈｚ程度の低い周波数を用いる。
５　障害された生体機能を電気刺激によって代償的に再建する。

【問題 22】

寒冷療法の作用で誤っているものはどれか。

下記の１～５の中から一つ選び、その番号を答案用紙に記入しなさい。

1　痙縮の抑制
2　痛覚閾値の上昇
3　新陳代謝の増大
4　神経伝導速度の低下
5　血管収縮による初期血流の低下

【問題 23】

Parkinson 病の４大徴候として誤っているものはどれか。

下記の１～５の中から一つ選び、その番号を答案用紙に記入しなさい。

1　固縮
2　振戦
3　無動・寡動
4　姿勢反射障害
5　ミオクロニー発作

【問題 24】

橈骨神経麻痺による下垂手に対する上肢装具はどれか。

下記の１～５の中から二つ選び、その番号を答案用紙に記入しなさい。

1　短対立スプリント
2　ナックルベンダー
3　逆ナックルベンダー
4　コックアップスプリント
5　オッペンハイマースプリント

【問題 25】

義肢の支給が規定されているのはどれか。

下記の１～５の中から一つ選び、その番号を答案用紙に記入しなさい。

１　医療法
２　介護保険法
３　健康増進法
４　高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（バリアフリー新法）
５　障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（障害者総合支援法）

【問題 26】

検査と身体状況の組合せで誤っているものはどれか。

下記の１～５の中から一つ選び、その番号を答案用紙に記入しなさい。

１　ＢＭＩ　　―　体格
２　ＦＢＳ　　―　バランス機能
３　ＧＣＳ　　―　疼痛
４　ＭＭＳＥ　―　認知機能
５　ＳＬＴＡ　―　失語

【問題 27】

低血糖症状について正しいのはどれか。

下記の１～５の中から二つ選び、その番号を答案用紙に記入しなさい。

１　口渇
２　多飲
３　多尿
４　発汗
５　頻脈

【問題 28】

熱傷について正しいのはどれか。

下記の１～５の中から一つ選び、その番号を答案用紙に記入しなさい。

1　Ⅰ度熱傷では発赤がみられる。
2　浅達性Ⅱ度熱傷では知覚鈍麻がみられる。
3　深達性Ⅱ度熱傷では肥厚性瘢痕は伴わない。
4　Ⅲ度熱傷では強い疼痛がみられる。
5　熱傷受傷面積の判定は、成人には５の法則、小児には９の法則を用いる。

【問題 29】

頸髄損傷の呼吸障害で正しいのはどれか。

下記の１～５の中から二つ選び、その番号を答案用紙に記入しなさい。

1　咳は強くなる。
2　肺活量は変わらない。
3　呼気量は低下する。
4　咳嗽介助は禁忌である。
5　急性期では肺炎を生じる可能性がある。

【問題 30】

70 歳の男性。右利き。脳梗塞による右片麻痺。T字杖を使用して介助なく 50m以上の歩行が可能である。食事は左手で普通のスプーンやフォークを使用して介助なく可能だが、監視や指示が必要である。歩行と食事のＦＩＭの点数の組合せで正しいのはどれか。

下記の１～５の中から一つ選び、その番号を答案用紙に記入しなさい。

1　歩行５点　―　食事６点
2　歩行５点　―　食事５点
3　歩行６点　―　食事６点
4　歩行６点　―　食事５点
5　歩行７点　―　食事４点